

## 【生活科学科～5月～】

3年生活科学科、福祉コースです♪

私たちは、「課題研究」の授業で、トマト、ナス、大葉、キュウリ、スイカ、ジャガイモ、ゴボウ、サツマイモ、トウモロコシ、カボチャ、ピーマン、エダマメの12種類の野菜の栽培を2人1組で行っています。

美味しい野菜を作るために、自分たちで畝づくりから行いました。

鍬で畝をつくり、ふかふかの土をつくることができましたが、鍬が重く、使い慣れていないのでとても大変でした。

また、マルチング作業も行いました。マルチングを行うことで、地温の調節や土壌水分の蒸発・泥はねを防ぐことができるので、野菜を丈夫に育てることができます。

畑作業の様子をお見せします。

1・2枚目の写真は、畝を立てている様子です。

鍬やスコップ、ホー、ものさしなどを使い、支柱の紐に沿って真っ直ぐになるように作業しました。

3枚目の写真は、マルチングを行っている様子です。

畝の周りにマルチシートを埋める溝をつくり、空気が入らないようにマルチの裾を土で押さえながら広げていきます。3人で行うことできれいに仕上げることができました。

4枚目の写真は、ナスの苗を定植している様子です。

定植のポイントは、定植前に畝にたっぷりとかん水して（水をたくさん含ませて）から行うことです。定植をした後は、マルチ上部の汚れを流し落とします。

現在、暑い日や雨の日でも圃場に出て、畑作業を行っています。

とても大変ですが、野菜が育っていく過程を間近で観察することで、学びになり、そしてやりがいを感じています。愛情を込めて育てていきます！



(3年生活科学科・農業委員)